

患者の視点から製薬業界を評価する PatientView のアプローチ

PatientView では、製薬業界の様々な側面を患者や患者団体の視点から評価する「製薬業界の企業評価」に関する調査を毎年実施しております。

この調査はどの企業・団体からも資金提供を受けず、PatientView が独自に実施する調査であり、対象の患者団体が希望する場合は、完全な匿名性が確保されます。そのため、調査結果には対象者の率直な意見や、偽りのないフィードバックが反映されています。

最新調査での変更点：

☑2020年および2021年の「製薬業界の企業評価」調査で扱った新型コロナウイルスに関する質問項目は、2022年の調査では削除されています。

☑新型コロナウイルスのパンデミックによって、世界的に（さらには国内でも）**医薬品へのアクセス**を求める患者が、不公正な状況に直面していることが明らかになりました。このため、2022年の調査には医薬品へのアクセスに関する新たな指標が導入されました（この「公正なアクセス」とは「より多くの患者が医薬品を入手できる」と定義されています）。

2022年における患者団体が製薬会社を評価するための10の指標



2022年における製薬業界に対する患者団体の見解

－患者の視点 アジア版

プレスリリースの差し止め期間

2023年8月10日（木）
午前8時（AEST）

お問い合わせ：Alex Wyke

電話：+44-(0)-7960-855-019

電子メール：report@patient-view.com

2023年8月10日 ロンドン

本日、PatientView はアジア地域における「製薬業界の企業評価」に関する最新の調査結果を公表します。

- ▶ANZ（オーストラリアおよびニュージーランド）- 58の患者団体が回答。
- ▶中国- 62の患者団体が回答。
- ▶日本- 45の患者団体が回答。

この調査では、2022年11月から2023年2月までの期間に、2022年の製薬業界の評価について、165の患者団体から意見を収集しました。

2022年の「製薬業界の企業評価」に参加した患者団体（以下「患者団体」）は、患者の経験を深く理解し、医療システムの他の利害関係者と連携するなど、製薬業界や、個々の製薬会社についてコメントできる独自の立ち位置にあります。このような立場は、アジアにおける患者団体も同じです。

業界全体の結果

▶ 業界全体：共通の見解

いずれの場合も、2022 年の患者団体の大多数が、少なくとも 1 社以上の製薬会社と関りがあつたと回答しています。

- ANZ - 86%
- 中国 - 87%
- 日本 - 82%

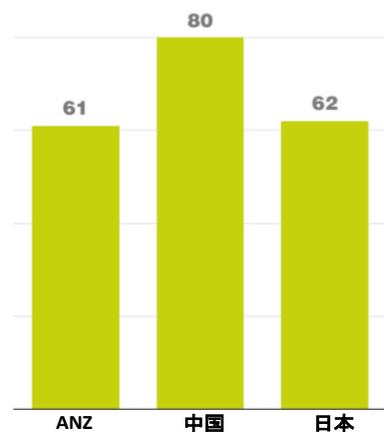
これらのアジア 4 か国は、政治的、人口統計的、疫学的な状況が大きく異なっているにもかかわらず、患者団体は、製薬業界に対してポジティブにもネガティブにも共通した意見を形成していることが明らかになりました。

• 4 か国の患者団体の半数以上が、製薬業界の業績に感銘を受けたと回答しています。特に 2022 年において、中国の患者団体が製薬業界を高く評価しており、80%の回答者が製薬企業に対し「優れている」または「良い」と評価しています。

• 同様に、4 か国の多くの患者団体が、患者のためになる製品を提供しているという項目について、2022 年の製薬業界を「優れている」または「良い」と評価しています。具体的には、ANZ は 75%、中国は 68%、日本は 71%でした。

一方で、**• 医薬品の入手しやすさ** **• 透明性の確保** **• 患者の研究開発 (R&D) への参加** **• 公平な価格政策**という項目については、「優れている」または「良い」と評価した患者団体は少数でした。

▶ ANZ (オーストラリアおよびニュージーランド)、中国、日本の患者団体による 2022 年製薬業界の企業評価
「優れている」または「良い」と回答した患者団体の割合 (%)



▶ 2022 年において製薬業界がアジアで行った特定の活動に対する評価
「優れている」または「良い」と回答した患者団体の割合 (%)

	ANZ	中国	日本
医薬品へのアクセス	33%	40%	36%
透明性：臨床データ	26%	39%	34%
透明性：資金提供	31%	35%	49%
透明性：価格	5%	32%	29%
患者の R&D 活動への参加	17%	31%	38%
公平な価格政策	7%	30%	22%

▶ **業界全体：相違点**

当然のことながら、例えば以下の項目において、4 か国の患者団体で意見の相違が顕著に見られました。

- 業界の革新力について、ANZ と中国の約 70% の患者団体が「優れている」または「良い」と評価しているのに対して、同様の高評価をした日本の患者団体の割合は 31% に留まりました（日本の患者団体は、業界の R&D 活動に関する公表資料が不足していること、提供される情報の信頼性の向上が求められること、また、製薬業界の R&D プロセスにより多くの患者の意見が取り入れられることを希望していることなどを挙げています）。
- 業界の患者中心主義については、中国と日本の患者団体の約 55% が「優れている」または「良い」と評価したのに対し、ANZ で同様に評価した患者団体は全体の 33% にとどまりました（製薬業界のほとんどの活動に患者が参加できないことが指摘されています）。



2022 年の調査に参加した患者団体から多く寄せられた意見の例を以下に示します。

“Stop re-inventing the wheel, and partner with patient organisations to deliver evidence-based messages, recruit for clinical trials, and provide support services for population groups.”

[「既存のリソースをもっと活用して、患者団体と連携を強化し、エビデンスに基づくメッセージの発信や、臨床試験のリクルートメントや参加者への支援を行って欲しい」]

– オーストラリア、全国消化器疾患患者グループ

“Reach out to us. Remember that New Zealand isn't Australia.”

[「私たちにも手を差し伸べて欲しい。ニュージーランドはオーストラリアの一部ではないのだから」]

– ニュージーランド、全国ポンペ病患者グループ

“我们认为制药公司应该加强基层沟通，一些优质信息也应及时与基层患者组织分享，以便让每一个患者了解相应的信息。”

[「製薬会社は草の根レベルのコミュニケーションにもっと積極的に取り組み、患者団体と適切なタイミングで高品質な情報を共有することで、すべての患者が関連情報を入手できるようにして欲しい」]

– 中国、全国血友病患者グループ

“製品開発、特に患者支援事業において、初期段階で患者・患者会の意見を聞いてほしい。大企業があるがゆえに小さなズレの修正が効かず、患者会に相談にきたときは手立てがないケースがあまりにも多い。”

– 日本、全国 IBD 患者グループ

▶ 個別企業の結果

2022 年の 4 か国での調査では、3 社がトップ企業として評価されました。
[角括弧内の数字は、国/地域ごとの総企業数です]

順位	ANZ [8]	中国 [10]	日本 [5]
製薬会社をよく知る患者団体による評価			
1 位	ファイザー	ロシュ・ダイアグノスティックス (中外製薬)	中外製薬
2 位	ギリアド・サイエンシズ	武田薬品工業	ファイザー
3 位	ヤンセンファーマ	ノバルティスファーマ	ノバルティスファーマ
順位	ANZ [3]	中国 [9]	日本 [3]
製薬会社と連携している患者団体による評価			
1 位	ファイザー	ロシュ・ダイアグノスティックス (中外製薬)	中外製薬
2 位	ヤンセンファーマ	武田薬品工業	ファイザー
3 位	アストラゼネカ	ノバルティスファーマ	アステラス製薬

脚注 :

分析に含まれている企業一覧

- ▶ ANZ : ・アッヴィ・アストラゼネカ・ Bristol Myers Squibb・ギリアド・サイエンシズ・ヤンセンファーマ・ノバルティスファーマ・ファイザー・ロシュ・ダイアグノスティックス
- ▶ 中国 : ・アストラゼネカ・バイエル薬品・ Bristol Myers Squibb・ヤンセンファーマ・MSD・ノバルティスファーマ・ファイザー・ロシュ・ダイアグノスティックス・サノフィ・武田薬品工業
- ▶ 日本 : ・アステラス製薬・ノバルティス・ファイザー・中外製薬・武田薬品工業

アジアにおける製薬会社と患者団体との関係性

ANZ、中国、日本における製薬会社と患者団体との関係性は、患者団体の国によって対照的な状況が浮き彫りになりました（国によって患者の動向が全く異なっていることが影響している可能性があります）。

具体的には、中国の患者団体は、ヨーロッパやアメリカの患者グループとは異なり、通常規制当局に異議を唱えることはほとんどありません（一方で、地方自治体と緊密な連携を維持している患者団体も存在します）。これらの患者団体は、代わりに医療機関と患者との橋渡し役として活動し、既存のシステムの枠内で現実的な解決策を見出すことに努めています。興味深いことに、少数ではありますが中国でも一部の患者団体（特に希少疾患に関心を寄せる団体）は、ここ数年、中央医療機関に対して団体が代表する患者にとってより良い治療やケアの提供を求める請願活動を行っています。

また、ANZ、中国、日本の患者団体が共通して、製薬業界の R&D 活動により多くの患者や患者団体が参加できるよう要望していることも重要なポイントです。以下の結果から、製薬会社とこのような関係を築いている患者団体は、4 か国ともごくわずかであることが見て取れます。

2022 年の患者団体と製薬会社との関係性のタイプ
「はい」と回答した、製薬会社と連携している患者グループの割合
色付きボックスは最も高い割合を示しています。

	ANZ	中国	日本
資金の提供	72	46	54
イベント開催の支援	22	46	57
会議/イベントへの招待	48	74	59
アドボカシーのトレーニング	4	33	8
その他のトレーニングの提供	8	13	19
情報提供	46	52	38
アドボカシーの支援	56	52	19
キャンペーンのサポート	50	59	11
プロジェクトの共創	24	61	27
支援ツールの製作/設計	26	44	32
広告活動のサポート	28	57	19
ネットワーク拡大のサポート	46	31	14
医療従事者のサポート	24	30	8
医療以外の研究への協力	6	11	5
研究開発 (R&D) 活動への参加	16	20	16
ウェブリソースのサポート	16	28	8
健康アプリの制作協力	4	9	3

最後になりましたが、2022 年「製薬業界の企業評価」調査にご回答いただいた ANZ、中国、日本の患者団体の皆様に、お礼申し上げます。

調査に参加した患者団体は、製薬業界の評価や業界（および個別の製薬会社）が患者のニーズや期待に応えているかどうかについての経験を共有することで、製薬業界にとって状況の改善に役立つ貴重なインサイトを提供できると考えています。

2022 年「製薬業界の企業評価」調査のアジア版で取り上げられている製薬会社の多くは、現在患者に対する戦略を構築している最中であり、調査結果から得られる回答者のフィードバックを、会社のモデルやアプローチに反映することで、患者のニーズや意見を取り入れられます。

2022 年の ANZ、中国、日本の各アジアレポートに関する詳細は、本プレスリリースの冒頭にある問い合わせ先までお問い合わせください。

プレスリリースの終了

お問い合わせ : Alex Wyke
電話 : +44-(0)-7960-855-019
電子メール : report@patient-view.com